

The logo for EXEDY, featuring the word "EXEDY" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "X" is stylized with two red diagonal stripes crossing through it.

株式会社エクセディ福島

# 環境報告書

EXEDY FUKUSHIMA Corporation Environmental Report

2025

# 目次

目次 P1

編集方針/報告対象組織/対象期間/  
参考ガイドライン

会社紹介 P2

## 第1章 2025年度活動内容

- 1 環境目的・目標に対しての結果 P3
- 2 主な実績評価指数の推移 P3
- 3 環境負荷低減活動の紹介 P4

## 第2章 サステナビリティ報告

- 1 トップメッセージ P5
- 2 環境組織 P6

### ■編集方針

この報告書は、株式会社エクセディ福島（以下当社）の環境活動を当社の利害関係者の皆様にご報告するために作成しています。

当社は以前から SDGs の活動を推進してまいりました。持続可能な社会への移行過程で当社がどのように取り組んで行くかをお伝えしていきます。

表紙は喜多方市の上水道取水である日中ダム上流の写真です。松原工場は飲料水を井戸水から市水に切替ました。地域の水を守る活動を継続し環境保全活動に力を入れていきます。

専門用語の使用は極力避け、使用した場合は※記しでページ下記に用語解説として記載しています。



本社・松原工場



綾金工場

### ■対象期間

2025年4月～2026年3月

### ■参考資料

環境省「環境報告ガイドライン2018年版」一部

### ■報告対象範囲

本社・松原工場：福島県喜多方市松山町鳥見山字松原 65

綾金工場：福島県喜多方市豊川町米室字古開 142-14

技術開発部：大阪府寝屋川市木田元宮 1-1-1

(株)エクセディ本社内

営業部：静岡県富士市荒田島町 6 番地 20 号リコーソリューションズ東静岡ビル 2F

(株)エクセディ静岡営業所内

# 会 社 紹 介

社 名	株式会社エクセディ福島 EXEDY Fukushima CO.,Ltd
設 立	1960年12月1日（クロイドン株式会社）
資 本 金	3億8千万円
代表取締役社長	西田 昌弘
売 上 高	22.1億円（2023年度）
従 業 員 数	217名（2024年4月）

## スラストニードルベアリング



当社は、2013年度より株式会社エクセディグループの関連企業として事業を行っています。製品であるスラストニードルベアリングは、オートマチック用変速装置部品に組み込まれ、高精密なベアリングです。

## 主要取引先

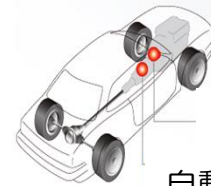
国内外の自動車メーカー、自動車部品メーカーにご愛顧いただいております。

- 明石機械工業株式会社
- 伊藤忠商事株式会社
- ヴアレオユニシアトランスミッション株式会社
- 株式会社エクセディ
- ジヤトコ株式会社
- スズキ株式会社
- 株式会社ダイナックス
- ダイハツ工業株式会社
- 日産自動車株式会社
- マツダ株式会社
- 三菱自動車工業株式会社
- ユニバンス株式会社
- ユニプレス株式会社

（敬称略・50音順）

### 使用実績

主に自動車用で多くの採用実績があり、1千7百万個/年以上（2024年度）を生産しています。



トルクコンバータ用  
自動変速機用

会社沿革	
1940年	日進工業所 創業
1960年	クロイドン株式会社 設立
1970年	ジヤトコ株式会社様と取引開始
1985年	株式会社エクセディと取引開始
1999年	ISO9001 取得
2006年	ISO14001 取得
2011年	株式会社エクセディと資本提携調印
2011年	株式会社エクセディ精密でのベアリング組立開始
2013年	株式会社エクセディの資本比率が100%に
2013年	「株式会社エクセディ福島」へ社名変更
2020年	鍍金工場 竣工
技術開発	
1952年	ニードルベアリングの国際化
1961年	フランス・ナデラー社と技術提携
1970年	トランスミッション用ベアリングの開発商品化（日本国内初）
1985年	トルクコンバーター用ベアリングの開発

## 製品情報

当社のニードルベアリングは大きく分けて、一体型と別体型の2種類あり、様々なサイズに対応しています。

### ◎一体型ベアリング

- レースがベアリングと一体
- ・生産数の80%
- ・組み付けしやすい
- ・誤組付けしにくい
- ・ベアリングの支持が片側のみで可



### ◎別体型ベアリング

- レースがベアリングと別体
- ・偏芯に強い

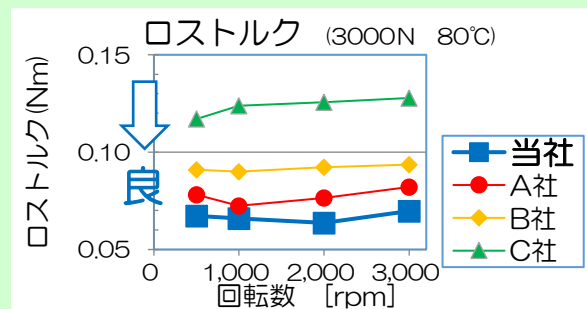


## 製品特長

「低フリクションロス※」これは省エネ・低燃費に大きく貢献する技術の一つです。写真のように摺動部の面積が狭く、フリクションロスや油温の上昇も小さく抑えられます。



当社製品  
摺動面積が小さい



※低フリクションロス：摩擦のロスが少ないこと

# 第1章 2025年度活動内容

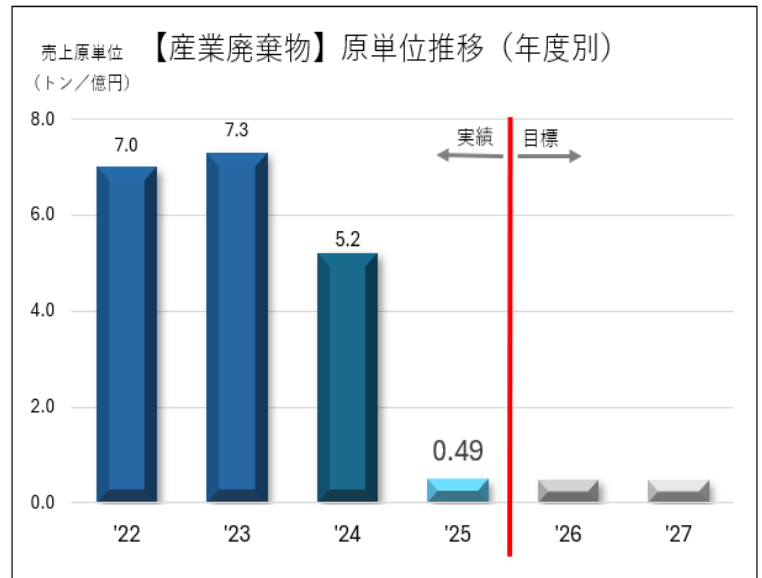
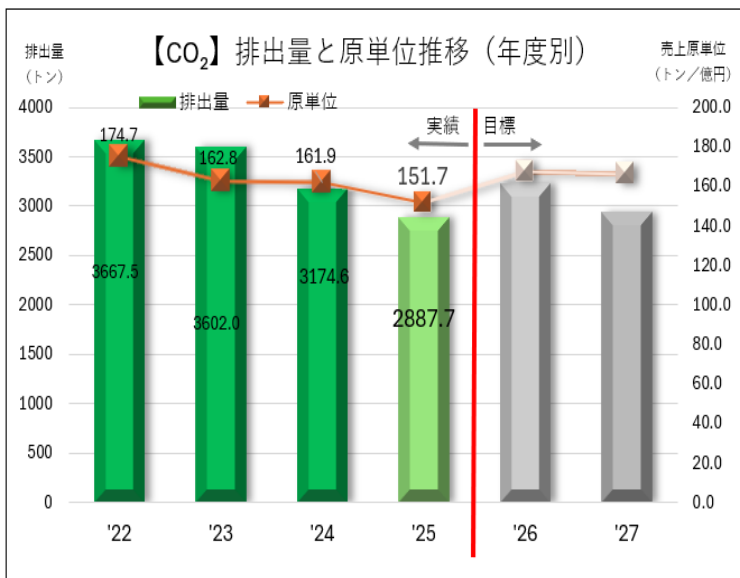
## 環境目的・目標に対しての結果

### ■環境目的・目標（2025年度実績と2026年度目標）

No.	環境改善活動のための方策	環境目的	2025年度目標	2025年度実績	2026年度目標
1	<p>☆CO<sub>2</sub>排出量の削減</p> <p>1) 電力による排出削減 (Scope2※)</p> <p>2) 再エネ電気の購入使用(使用電力の20%契約)</p> <p>3) 燃料燃焼による排出削減 (Scope1※)</p> <p>4) 物流による排出削減 (Scope3)</p>	<p>・環境活動方針に基づき、環境保全活動を効果的に行う。</p> <p>[環境活動方針]</p> <p>1. 順法・コンプライアンスの強化 ・私たちは各国、地域が定める環境法令等の順守はもとより、自主基準を制定し、大気、水質、土壌への汚染防止に取り組み、環境負荷の最小化を図ります。</p> <p>2. 脱炭素社会への貢献・気候変動への適応 ・私たちは、動力を効率的に伝達するコア技術を深化することで社会のエネルギー効率向上に貢献します。 ・私たちは製造技術の技術革新を通して、事業における温室効果ガスの排出ゼロを目指します。 ・私たちは気候変動に適応し、レジリエンスを高めます。</p> <p>3. サーキュラーエコノミー ・私たちはライフサイクルを考慮した新製品・技術開発を通じて、サプライチェーン全体の環境負荷低減に努めます。</p>	<p>☆CO<sub>2</sub>排出量の削減</p> <p>①累積原単位※目標 年 169.4t-CO<sub>2</sub>/億円以下</p> <p>※累積原単位 年間でのCO<sub>2</sub>排出量/売上高</p> <p>②総量目標 年 3.391t-CO<sub>2</sub>以下</p> <p>対2022年度比▲12.3%の数値</p>	<p>①累積原単位評価 年 151.7t-CO<sub>2</sub>/億円 (対目標▲17.7t-CO<sub>2</sub>/億円)</p> <p>②総量評価 年 2887.7t-CO<sub>2</sub> (対目標▲504.3t-CO<sub>2</sub>)</p>	<p>・脱炭素社会づくりをはじめ、環境負荷の最小化に貢献する。* EXF連結中期経営計画 2024-2026 に基づく展開。</p> <p>☆CO<sub>2</sub>排出量の削減</p> <p>①原単位目標:年 167.7t/億円以下 ②総排出量目標:年 3232.0t/以下 * 対2022年度比▲16.4%</p>
2	<p>☆産業廃棄物の削減 (汚泥類、プラスチック類、等)</p> <p>1) 3R推進</p> <p>2) 有価物化</p>		<p>☆産業廃棄物削減</p> <p>累積原単位※目標 年 5.1t/億円以下</p> <p>対前年度比▲1%の数値</p> <p>※累積原単位 年間での廃棄物最終処分量/売上高</p>	<p>累積原単位評価 年 0.49t/億円 (対目標▲4.61t/億円)</p>	<p>☆産業廃棄物排出量の削減</p> <p>累積原単位目標:年 0.48t/億円以下 * 対2025年度比▲1%</p>
3	<p>☆環境法令順守・環境事故防止</p> <p>1) 緊急事態対応訓練</p>		<p>法令順守・環境災害※ゼロ</p> <p>※環境災害 化学物質、廃棄物等による自然や人体へ影響を及ぼすこと</p>	<p>綾金工場排水処理場 活性炭塔、砂濾過塔 交換実施</p>	<p>☆環境法令順守・環境事故 目標:発生ゼロ件</p>

### 主な実績評価指数の推移

当社の目標値となっているCO<sub>2</sub>排出量及び売上原単位※について、生産性向上や一人一人の省エネ活動を行い低減できました。2030年までに46%（2019年度比）削減できるよう活動を継続していきます。産業廃棄物については、最終処分量を2024年度に比べ大幅に削減しました。最終処分とは埋立処分される産業廃棄物です。埋立処分や焼却処分から再資源化される処分場への変更を実施しました。



※売上原単位：排出量/売上高

※Scope1(スコープ)：燃焼によって直接排出した温室効果ガス

Scope 2：供給される電気の使用に伴って排出される温室効果ガス

## 環境負荷低減活動の紹介

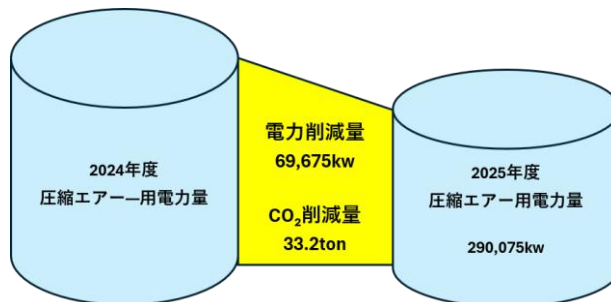
### 電力削減の取り組み



#### ■コンプレッサー稼働条件見なおし

圧縮エア用のコンプレッサーの電力量は工場全体使用電力量の10%を占めています。以前からエア漏れ改善活動を実施していますが、2025年度はコンプレッサーの稼働条件を見直し、電力削減に取り組みました。

- ・タイマー機能による休日停止
  - ・エア使用量低下時間の停止
  - ・維持管理での故障ゼロで予備機の稼働なし
- 電力量は前年度比約▲10%の効果がありました。



#### ■エアコンフィルター清掃

当社は部門ごとに環境改善活動を自主的に実施しています。各部門共通してエアコンフィルターの清掃を定期的に行っています。CO<sub>2</sub>削減だけでなく、日常的に環境意識を持って業務を遂行しています。



## 衛生管理改善



#### ■飲料水の上水道切替え

松原工場の従業員が飲料する地下水の濁度基準値がオーバーしていたため、飲料用はペットボトルの水を支給していました。

事前調査を終え、今年度、水道本管から引込工事を実施しました。従業員へきれいな水を提供することができました。



## 産業廃棄物再資源化の取り組み



#### ■処分方法の変更

当社の廃棄物で焼却処理や最終処分が埋立処理されるものを見直し、中間処理で再資源化されるように処分場の変更を行いました。

また処分場へ処理状況確認を行い、両者適正な処理ができるようにコミュニケーションを図っています。



無機汚泥



土木資材へ再資源化



処理状況確認の様子

## 第2章 サステナビリティ報告

### ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

#### エクセディ福島の姿勢

エクセディ福島は、自動車に使用されるスラストニードルベアリングを製造することだけを、深く長く追及し、実績と信頼を着実に積み重ねてきました。当社の製品はいずれもユニークな一体型構造となっており、お客様からは使いやすさとともに品質的にも高い評価をいただいております。また、構成部品のすべてを内製していることから、急なオーダーにもフレキシブルに対応できるような体制をとっています。

エクセディ福島がある地元会津に根付いた教えをしっかりと心に留めて、「決めたことはきちりやる」の精神とエクセディグループの理念である、私たちの目指す姿「健全な企業活動」のもと、全力で日々の生産活動に取り組んでおります。

#### 環境課題への長期ビジョン

2015年に国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されて以降、企業による社会課題解決の期待が高まっております。

これまでは、CSR活動と称し、省エネ製品の開発や地域社会への貢献、ダイバーシティの推進などに取り組んでまいりました。

さらに、2020年4月にはSDGsを経営方針7つの柱の一つに据え、4つの優先課題を中心に活動を加速させております。

今般、私たちはこうした活動をさらに進化させるべく、CSR活動を「サステナビリティ※(持続的成長)活動」と改称し、国際的な課題である「地球温暖化防止」について、2050年までにカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量実質ゼロ)を達成することを目標に、ESGを重視して、省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの導入に全員一丸となり取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解、ご支援を賜ることができますよう、お願い申し上げます。

2026年4月



代表取締役社長

西田 昌弘  
Masahiro Nishida

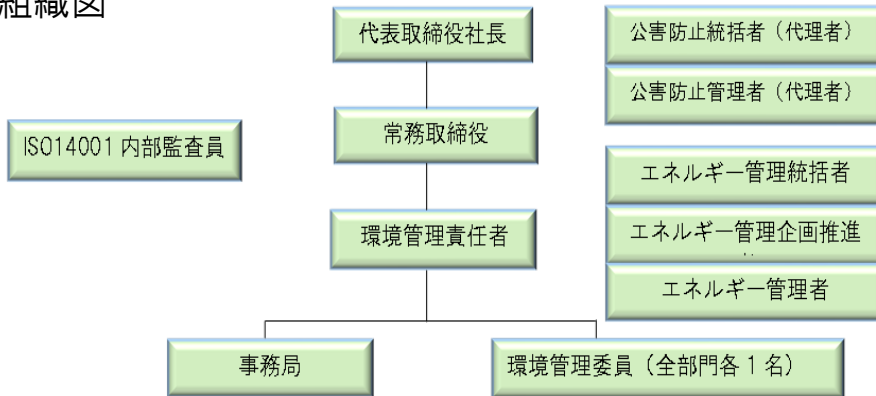
※サステナビリティ:持続可能性 社会・経済・環境が長期的に持続可能な社会を築くための考え方や取り組み

# 第2章 サステナビリティ報告

## 環境組織

当社は、環境管理責任者を筆頭とする環境管理委員会を中心にマネジメント体制を構築しています。委員会は2か月に1回開催され、環境目的・目標に基づき各部門の活動報告、管理を行っています。重要な環境課題に関しては、環境管理責任者が取締役会へ報告しています。

### ■環境組織図



【改善活動実施報告書】一例

### ■JIS Q14001:2015/ISO14001:2015 取得状況

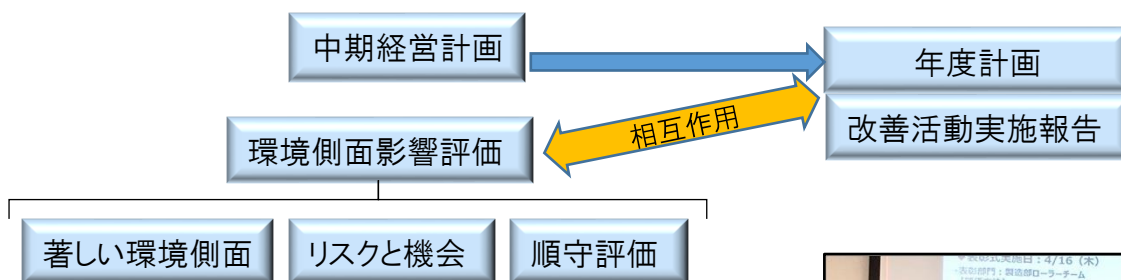
内部監査：2025/10/7～2025/11/18

外部審査：定期審査 2026/2/19～2/20 (審査機関：ASR)

結果：不適合なし

環境管理委員会では、メンバーが自部門の年度計画に沿って活動の計画と実施内容を報告しています。品質や生産性向上活動等も、自部門の活動は全て SDGs となり環境へ影響しているということ意識しています。

報告内容は、自部門の環境側面に対する活動が主で、改善活動実施報告書で管理・運用しています。



毎年、改善活動実施報告書を基に、環境改善活動の表彰を行っています。

活動をポイント換算し、活動結果や取り組み状況など総合的に評価し、表彰部門を決定しています。

2026年度は綾金工場ローラーチームが表彰されました。





# 株式会社エクセディ福島

〒966-0901 福島県喜多方市字松山町鳥見山字松原 65

お問い合わせ先：安全環境部

編集責任者 伊藤 健一

作 成 安全環境部

TEL.0241-23-3100 FAX.0241-25-7367

発 行：2026年5月